

第2期大田原市健幸ポイントプロジェクト  
健幸ポイント・プラス  
平成29年度の成果について

---



平成30年4月11日  
大田原市保健福祉部健康政策課

# (健幸ポイントで使用している物品)

【健幸ポイントカード】



【歩数計 (株) タニタ FB-732】



【体組成計 (株) タニタ MC-780】

【健幸ファイル・スタンプシート】



# 1. 第2期健幸ポイントプロジェクトの概要

## ○第2期健幸ポイントプロジェクト（平成29年度～平成31年度）

このプロジェクトは、「大田原市民がすこやかに長生きするための条例」の規定に基づき、市民の健康づくりへの意欲を喚起するとともに、運動習慣の定着を促すためのインセンティブ事業です。

第1期までの“1ポイント＝1円”の交換制度ではなく、何かを達成した場合に健幸ポイント1ポイントを獲得する達成確認制度として運営しています。10ポイントを獲得することで景品（公共温泉施設入浴券）、20ポイント獲得で大田原市子育て支援券2,000円と交換することができます。（1年度中の20ポイント交換は最高3回まで、一人当たり1年度最高6,000円）

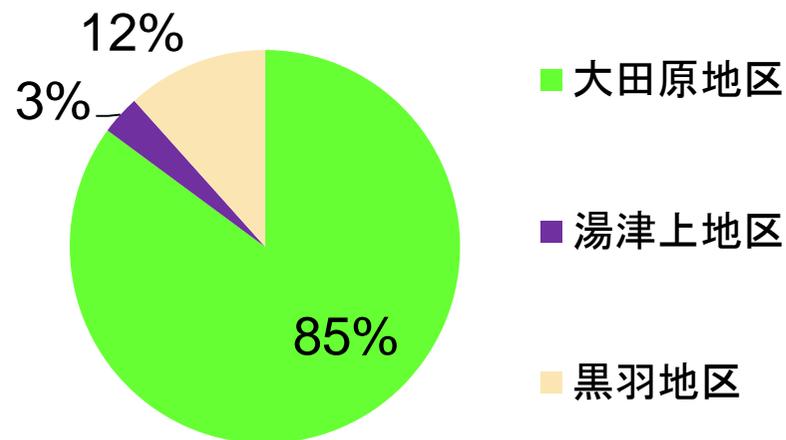
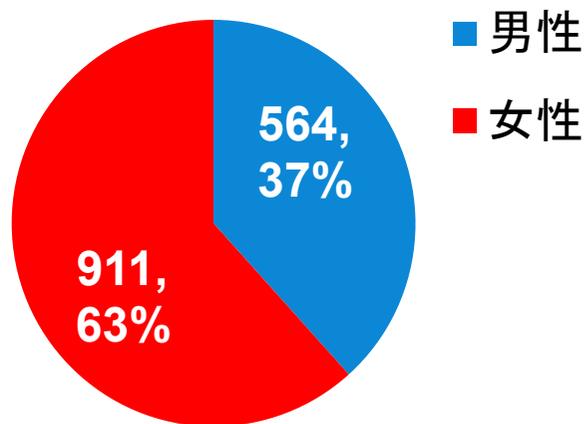
このインセンティブ事業を円滑に実施するため、大人数対応と低コスト化を念頭に「大田原市健幸ポイント・プラスシステム」を独自開発しました。また、ポイント付与対象イベントの開催の際には、地域内の皆様との連携体制を構築して事業を実施しています。

## 2. 平成29年度参加者の状況（1）

### ○大田原市健幸ポイントプロジェクト

参加者数 1,475人(平成30年3月31日現在)

	合計	大田原地区	湯津上地区	黒羽地区
男性	564名	490名	13名	61名
女性	911名	766名	34名	111名



### 3. 平成29年度参加者の状況（2）

#### ○参加者平均年齢

	平均年齢	最高齢	最年少
男性	65.27歳	92歳	20歳
女性	62.87歳	86歳	20歳

#### ○歩数計測方法別参加者数

	歩数計コース	アプリコース
男性	556人	8人
女性	907人	4人
合計	1,463人	12人

○「よいちメール」登録者数 565名（38.3%）

## 4. 参加者の活動実績

### ○健幸ステーション参加率

平成30年3月（最終月） 82.51%【実数1,217人】

・・・平均80%程度の健幸ステーション参加継続率を維持。

### ○インセンティブの支給実績

20ポイント交換 334名（23.7%） ※合計668,000円

10ポイント景品 888名（63.0%）

6か月連続測定景品 758名（53.8%）

### ○インセンティブ付与事業 23事業 延べ参加者数 6,398人

### ○健診受診率 65.5%（966人）

### ○運動量（歩数）の増加（第1回募集1,000人対象）

参加登録月の平均歩数 6,404歩/日（累積歩数による）

⇒ 参加3か月後に平均8,404歩/日へ約2,000歩増加

## 5. 参加者アンケート調査結果

- 「健幸ポイントに参加して良かった」・・・90.34%
- 「歩くことなどのスポーツの習慣が身についた」  
・・・64.52%
- 「これからも健幸ポイントを続けていけると思う。」  
・・・74.94%
- 「だいたい毎日、スポーツや運動をしている。」  
・・・41.55%【開始時】 ⇒ 61.11%

※有効回答数885件（回収率 62.81%）平成30年3月23日 大田原市健康政策課集計

## 6. 平成29年度事業のまとめ（1）

### テーマ1

インセンティブ制度に参加する市民を更に増やし、大規模な参加者集団を速やかに形成して、維持すること

- 新しい健幸ポイント制度を導入し、平成30年3月末時点の参加者数は1,475人となりました。（目標3,000人）
- 約80%の参加者が、毎月1回健幸ステーションにやっけてきており、新たな生活習慣が形成されつつあります。
- 健幸ポイントを付与することで、1イベントに対して150名～300名程度の動員力が確認されています。

◎初年度1,000名以上の参加者獲得目標を達成

## 7. 平成29年度事業のまとめ（2）

### テーマ2

スポーツ関心層に変わった参加者の受け皿となる事業を十分確保すること、特に参加者間の小規模グループ活動を形成していくこと

- ▶ 地域内の事業者の皆様や各種団体等と連携しながら、健康ポイント付与対象事業として23事業を実施しました。
- ▶ 運動教室やスポーツ体験、健康セミナーのほか、友人や家族と一緒に楽しめるイベントとして、商店街店舗をめぐるスタンプラリーや市営バスを利用したフォトラリーを開催しました。

◎月1回ペースでのイベント開催が定着しました

## 8. 平成29年度ポイント付与事業の実績（1）

開催月	事業名（参加人数）	
7月	女性の心と体の健康講座(13) 第1回健康セミナー(440) 健幸づくりリーダー研修会(48) 第1回アンケート調査(1,408)	
8月	第2回健康セミナー(231)	健幸運動教室(26)
9月	ボウリング体験教室(139) 健幸運動教室(68) 第3回健康セミナー(299) 健幸づくりリーダー研修会(25)	健幸ボウリング(57) 幸齢者スクール(35)
10月	ボウリング交流会(88) ニュースポーツ体験プログラム(273)	第4回健康セミナー(226)

## 9. 平成29年度ポイント付与事業の実績（2）

開催月	事業名（参加人数）
11月	健幸づくりリーダー研修会(22) メディカル講座(126) 体カづくり実技講習会(240)
12月	運動に役立つスマホ・ケータイ講座(114) 与一逸品一店物語スタンプラリー(346)
1月	健幸生活講座(268)
2月	公共交通で行くフォトラリー（530）
3月	第2回参加者アンケート調査（1134）

◎健幸運動教室



◎ニュースポーツ体験プログラム



◎健幸生活講座



◎運動に役立つスマホケータイ講座  
座



## 8. 平成29年度事業のまとめ（3）

### テーマ3

市内の様々な関係者との体制構築による参加者の受け皿の確保と地域活性化を達成すること

- ▶ 第1期までの各種団体や庁内各課のほか、合計12人（団体、組織）と連携事業を実施しました。
- ▶ そのほかカワチ薬品大田原南店、ドコモショップ大田原店における臨時健幸ステーションの開催など、新しい連携の方法に取り組んでいます。
- ▶ 健幸ポイントプロジェクトでは、ポイント付与対象事業において営利活動（広報宣伝等や販売など）を許可することにしました。
- ▶ 中心市街地内のトコトコ大田原へ月800人～1,000人の集客を実現しています。

⇒健幸ポイント事業による協同の輪が地域に定着しつつあります。



臨時健康ステーション  
カワチ薬品大田原南店

臨時健康ステーション  
ドコモショップ大田原店



## 9. 今後の目標（テーマ）

### 「大集団対応と低コスト化の両立」

インセンティブ事業は、参加人数が増えれば増えるほど、市役所だけで制度を維持することが難しくなっていきます。この問題を解決するためには、地域内の様々な個人、団体、企業等による協力体制をつくって対応していく必要があります。

### 「意欲ある参加者の行動と地域経済の関係の連結」

この協力体制を維持するためには、意欲的に変わった参加者集団の活動が鍵となります。市民一人一人が街なかで歩き出し、そのことが地域経済に良い影響を与えることを目指します。

### 「健幸づくりの社会運動化」

将来的には「ポイントをもらうためにやる」ではなく、「健幸づくりをやっているのが当たり前社会」になることを期待して、健幸ポイント事業を実施していきます。